

教育文化

小・中学校の整備 11校を新設

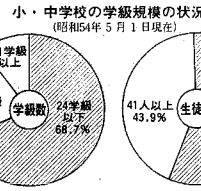


明日を担う子どもたちのために、教育環境の整備に努めます

学校教育

基準へ良好な教育環境のもとで、だれでも平等に教育が受けられるように、

教育効果が得られるような教育の場を確保する。



▽小・中学校の適正規模は、一校当たり十二、二十四学級とし、一学級当たりの定員は四十人とする。

▽能力があるすべての生徒に、高等学校教育の場を確保する。

▽市民に、地元で大学教育が受けられる機会を拡充する。

▽勤労青年が大学教育を受ける機会を確保する。

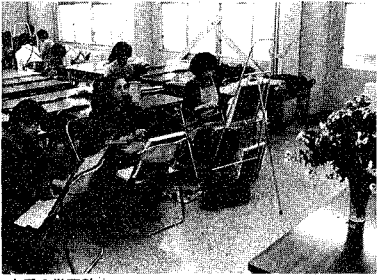
▽心身障害児には、障害の種類・程度に応じて、高いレベルで学ぶ機会を確保する。

▽小・中学校の非木造化率は、校舎が八十二％、屋内運動場が六十七％である。五十五年度は、市民自らのものとして、市民が運営する。

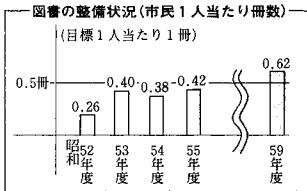
<基幹的公民館> 配置はほぼ完了

社会教育

基準へ生涯を通じて、身近な所で主体的に学習、文化活動のできる場を確保する。



市民の学習熱は年々高まり、利用市民は年々増加している。市民の学習熱は年々高まり、利用市民は年々増加している。



図書の整備状況 (市民1人当たり冊数)

地区	名	称
西	内野、平和台	坂井輪、真砂
坂井輪	坂井輪、真砂	中央南東
中央南東	鳥屋野、石山、大形	山の下
山の下	松浜	松浜

公民館の整備状況

地区	名	称
西	赤塚、中野	小野
坂井輪	南部、丸瀬	大形
中央南東	中野山、木	木
山の下	中松、南浜、濁川	濁川

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽公民館利用者は、年々増加している。五十五年度十六万人、五十五年度十六万人、青少年活動施設としては、少年の家、青年の家、山の家、公民館の整備状況

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川

鳥屋野総合体育館

武道館棟も建設へ

スポーツ

基準「日常生活の中でのスポーツ活動を」

▽市内の各カ所を確保する。

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川



家族ぐるみでスポーツを楽しむ人が増えています

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川

旧新潟税関 石庫復原始まる



旧新潟税関、石庫の復原も開始

基準「市民文化の向上のため」

▽市民自らのものとして、市民が運営する。

▽赤塚、中野、小野、南部、丸瀬、大形、中野山、木、木、中松、南浜、濁川

スポーツ施設設置状況

地区	屋外体育施設	屋内体育施設	体育施設校数
西	なし	なし	9校
坂井輪	小針野球場	なし	10
中央	陸上競技場、補助陸上競技場、相模野球場、少年野球場、屋外ソフトボール場	体育館、トレーニングセンター、屋内温水プール	17
江南	鳥屋野野球場、球技場、馬場	屋内温水プール	14
江東	長野川野球場、阿部野球場、東公園児童遊園	なし	19
中	山の下運動広場	なし	6
北	南浜運動広場	なし	8

このほか、サイクルリンクロード約四十キロメートルがある。